

F Y S (First Year Seminar) について (2006から2009年度入学者に適用)

F Y Sは全学共通の初年次教育科目(必修)です。F Y Sとは、ファースト・イヤー・セミナー(First Year Seminar)の略で、新入学生(1年次生)は少人数のクラスに分かれ、“大学への入門”をセミナー(演習)形式で学びます。本学では、このF Y Sを通して新入学生が大学での学修により早く適応できるようにサポートします。

新入学生のみなさんは、この科目の履修を通して「高校と大学との違い、神奈川大学の歴史と今、そして今後の授業で必須となるスキル(読み・書き・調べ・問題発見力・表現力・プレゼンテーション能力)等」を学び、主体的に学修に取り組む姿勢を修得してください。

具体的には、以下のような能力を身につけた学生の育成をめざします。

〔大学で学ぶための視点〕

大学で学ぶことの意味を理解し、自分を客観視することができる。

事象や既存の理論に対して「問題」を発見し、また疑問を提示することができる。

自らの能力を自己評価でき、新たな達成目標を設定することができる。

〔大学で学ぶための方法〕

大学の組織と沿革を知り、また学修支援システムを自立的・継続的・多面的に利用できる。

教育課程を理解し、4年間の学修計画をたてることができる。

図書館の利用により、独自に文献・資料等を検索または収集できる。

既存の文書を指示された要件に従って要約・再構成でき、また、完成度の高いレポートや小論文を所定の期限内までに完成できる。

グループ学習に際しては、協調性をもって主体的に参加することができ、また意見を述べることができる。

プレゼンテーションに際しては、自ら資料を作成し、論点を整理し、所要時間内に口頭発表ができる。

授業回数は、前学期(半期)15回を、「神奈川大学への適応」(前半7回)と「基本的なスタディー・スキルの涵養」(後半8回)とし、「神奈川大学への適応」では、大学生活を送るうえで必要な一般常識や態度を、「基本的なスタディー・スキルの涵養」では、大学で学ぶための基礎的技法を実践的に学びます。

なお、事前、事後課題については毎回教員から指示があります。

第 編 神奈川大学への適応(前半7回)

第1回 ガイダンス

第2回 主体的に授業に取り組む

第3回 神奈川大学を知る

第4回 情報リテラシー

第5回 図書館利用ガイダンス

第6回 主体的に授業に取り組む

第7回 主体的に授業に取り組む

第 編 基本的なスタディー・スキルの涵養(後半8回)

以下には、8回を2課題として取り組む際の標準的な例を示した。

第8回 レポート作成やプレゼンテーション(1回目) ~課題設定~

第9回 レポート作成やプレゼンテーション(1回目) ~資料収集~

第10回 レポート作成やプレゼンテーション(1回目) ~具体的表現~

第11回 レポート作成やプレゼンテーション(1回目) ~相互での確認,問題改善と発見~

第12回 レポート作成やプレゼンテーション(2回目) ~課題設定~

第13回 レポート作成やプレゼンテーション(2回目) ~資料収集~

第14回 レポート作成やプレゼンテーション(2回目) ~具体的表現~

第15回 レポート作成やプレゼンテーション(2回目) ~相互での確認,問題改善とその発見,まとめ~

このF Y Sは少人数による演習(セミナー)科目です。毎回の出席はもちろんのこと、課題の提出、グループでの学修や作業、そして討論やプレゼンテーションなど、学生の主体的かつ積極的な参加が求められます。

成績評価は、課題、レポート、プレゼンテーション等の内容70%、授業に参加する姿勢30%を目安とします。